



柿崎病院は県営で運営
すべきと強く主張を
橋爪 法二(日本共産党議員団)



問／令和2年10月23日、市の担当部長が県の病院局へ出向き、柿崎病院について要望したというが、その内容及び県の回答はどうであったか。

答／柿崎病院について、市が経営主体になることは財政負担や医師確保の面からも困難であり、引き続き県による運営体制を維持存続するよう求めた。県からは、「県と市の役割分担がある。上越市の負担については理解している」とのことだった。

問／県は提案を取り下げしていない。新型コロナウイルス感染症が流行している中、病院の経営主体をどうするかより、感染症対策を優先すべきだ。県に先送りすべきと言うべきではないか。

答／病院の位置付けではなく、経営のあり方である。病院の位置付けであれば、今すべきではないし、そのとおりである。経営の在り方ですと、先送りをすべきと言うのではなく、いつ持つて来られる話ではない。

ある。病院の位置付けであれば、今すべきではないし、そのとおりである。経営の在り方ですと、先送りをすべきと言うのではなく、いつ持つて来られる話ではない。



11月の議会報告会・意見交換会を実施しました！

市議会では、令和2年11月6日～11日にかけて清里区、直江津、吉川区、三和区の計4か所で、議会報告会・意見交換会を実施しました。

前半はプロジェクターを使って議会の取組や定例会中の委員会審査の内容を説明し、後半は市民との意見交換会を行いました。

意見交換の中でいただいた47項目のご意見のうち、一部をご紹介します。



- マイナンバーカードはなぜ浸透していないのか。市民が制度を活用できるよう、議会としても市に対して働きかけてほしい。
- 県立柿崎病院の統廃合問題では、他市に比べ、市長や市議の動きが鈍い。命を守ることは何よりも大事なことであり、また、へき地病院については赤字なのは当たり前で経済原理を導入するというのは間違いだと思うが、どのような認識か。
- 清里区でもクマによる人身被害が発生した。県もクマ出没特別警報を発令し注意喚起を図っている。市としても効果的な対策をお願いしたい。
- 公の施設の再配置について、利用実績だけで存廃を判断すると、地域差が出るのではないかと。施設には避難所など他に大切な場所としての役割がある。議会では、市からどのように聞いているのか。
- 子どもの通学路について、L字側溝の上を歩いていたり、傘を差した時に外側線からはみ出たりと、危険である。特に冬期は、積雪により歩くスペースが狭く危険なので、点検をしっかりとってほしい。
- 一般質問で取り上げる題材について、専門分野や得意分野で質問をしている議員が多いが、もっと市民の声を聞いて地域に関することを質問するべきではないか。地域の課題はたくさんあるので、一般質問でも取り上げてほしい。
- 議員、地域協議会委員、町内会が連携することが大事である。今後とも互いに協力をお願いしたい。

その他いただいたご意見や上記ご意見を含め、当日の回答等は全て市議会ホームページに掲載しています。ホームページは、「上越市議会 意見交換会」で検索いただくか、右のQRコードからご覧ください。

